

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053
住 所 東京都中央区晴海1-8-8晴海 トリトスクエアW棟19階
氏 名 東洋埠頭株式会社 代表取締役社長 原 匡史
(代理人)専務取締役 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋埠頭株式会社			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町13-1			
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の種類	大分類	H	運輸業、郵便業	
	中分類	47	倉庫業	
主たる事業 の内容	倉庫業・港湾運送業			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,934 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ～ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の環境への取り組みについては、ホームページにて紹介しております。 http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t -CO ₂)	(実) 8,344 (調) 8,147	(実) 7,988 (調) 8,114	(実) 7,015 (調) 7,542	(実) 7,753 (調) 8,341	(実) 8,261 (調)
削減率		(実) 4.3 % (調) 0.4 %	(実) 15.9 % (調) 7.4 %	(実) 7.1 % (調) -2.4 %	(実) 1.0 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	7898				原単位等の単位	100
	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標とした値	
排出量原単位等の値	100.0	99.00	94.81	89.00	99.00	
活動量の値	7898	7838	8023	8896	-	
排出量原単位等の削減率		1.0 %	5.2 %	11.0 %	1.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は4.3%削減し、原単位で1.0%改善し目標を達成した。				
第2年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は15.9%削減され、原単位で5.2%エネルギー効率が改善し目標を達成した。				
第3年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は7.1%削減され、原単位で11.0%エネルギー効率が改善し目標を達成した。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)			計画期間(第1-3年度)において、実排出量を1%以上削減することを目標としており、作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことで、エネルギー効率を改善し、目標を達成した。		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			計画期間(第1-3年度)において、実排出量を1%以上削減することを目標としており、目標を達成した。次期計画期間においても目標を達成できるよう、作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進していく。		

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

無し

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新する。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入する。	
第1年度	○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍空調設備の更新時、インバータ制御冷凍機を導入した。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明設備の更新時、高効率機器を導入した。	
第2年度	○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍空調設備の更新時、インバータ制御冷凍機を導入した。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明設備の更新時、高効率機器を導入した。	
第3年度	○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍空調設備の更新時、インバータ制御冷凍機を導入した。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明設備の更新時、高効率機器を導入した。 ○計画期間中に空気調和設備175台更新した。 ○計画期間中に照明設備を高効率機器に895台更新した。	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)		温室効果ガスの排出量削減目標を達成した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
無し	無し	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	・エコマーク製品などを優先的に購入する。 ・分別回収ボックスを設置し分別回収に努める。
第1年度	・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。
第2年度	・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。
第3年度	・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,344 t-CO ₂	7,988 t-CO ₂	7,015 t-CO ₂	7,753 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,231 KL	4,015 KL	3,907 KL	3,934 KL
事業所の数	2	2	2	2

（2）事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
川崎支店	川崎市川崎区扇町13番 1 号	5,450	5,354	4,446	5,364

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
東扇島支店	川崎市川崎区東扇島27番地 1	2,894	2,634	2,569	2,389